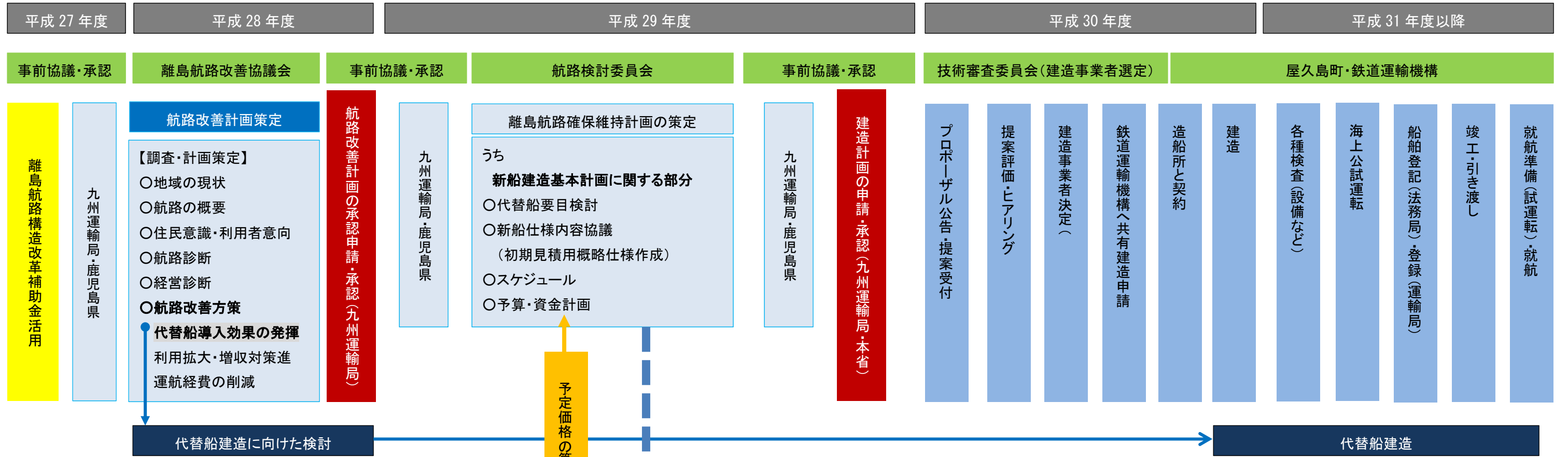
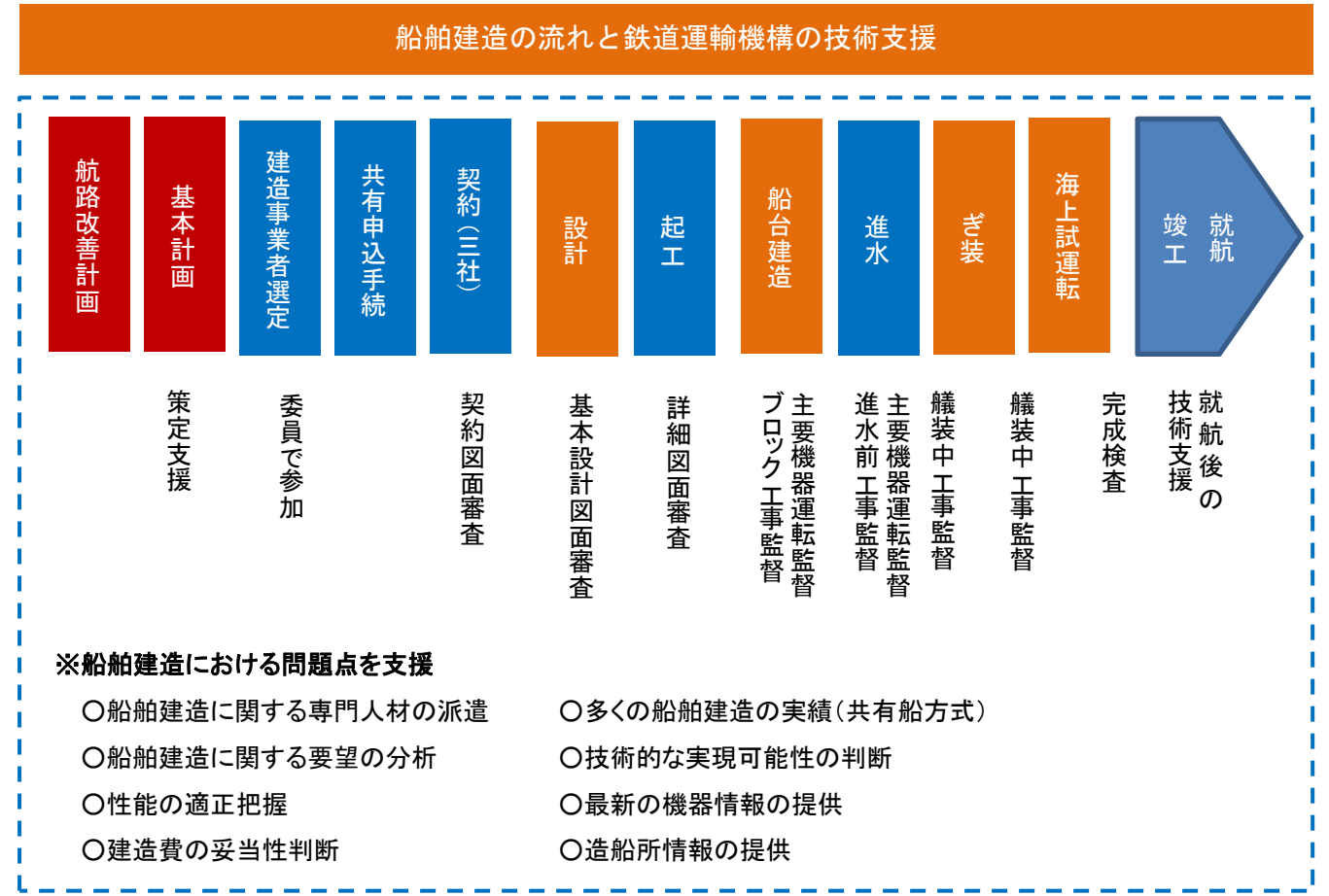


# 1 航路改善計画策定から船舶建造の流れ（例示）



- ### ■基本計画策定のポイント
- 1 適正な各性能** (Appropriate performance)
    - ・船の大きさ(長さ、総トン数)
    - ・旅客定員(個室、寝台、椅子)
    - ・乗組員定員(室数・設備)
    - ・車両搭載台数(種類、台数)
    - ・貨物搭載量(種類、重量)
    - ・航海速力とシーマージン(経年劣化)
    - ・バリアフリー化(昇降機)
    - ・各種性能(通風設備等)
  - 2 適正な建造費** (Appropriate construction cost)
    - ・旅客設備
    - ・乗組員設備
    - ・車両搭載設備
    - ・貨物搭載設備
    - ・推進設備
    - ・バリアフリー設備
    - ・各種設備
  - 3 適正運航費** (Appropriate operating cost)
    - ・燃料・潤滑油費
    - ・入渠費
    - ・整備費
    - ・消耗品費
    - ・設備維持費
    - ・省力化



資料 「基本計画策定支援」独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構(略称 鉄道運輸機構) 「九州離島航路経営改善ガイド」(平成 24 年 3 月、九州運輸局)

2 航路改善計画策定のスケジュール

